



安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 (製品名)	CAT-RM
供給元	
会社名	信越化学工業株式会社
	シリコーン事業本部
住所	〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-4-1
電話番号	03-6812-2400
ファックス番号	03-6812-2412
SDS作成部門	群馬事業所 品質保証部
電話番号	027-385-2172
緊急連絡先	027-385-2172 (休日・夜間: 027-385-2111)
メールアドレス	msds_s@shinetsu.jp

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途	RTVゴム RTVゴムの硬化剤 RTVゴム RTVゴムの硬化剤 RTVゴム RTVゴムの硬化剤
使用上の制限	一般工業用

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

物理化学的危険性	危険有害性の分類に該当するという情報はありませぬ。
健康に対する有害性	皮膚腐食性/刺激性 区分1C 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分1 皮膚感作性 区分1 生殖細胞変異原性 区分2 生殖毒性 (生殖能, 胎児) 区分1B 特定標的臓器毒性 (単回ばく露) 区分1 (胸腺) 特定標的臓器毒性 (反復ばく露) 区分1 (胸腺)
環境に対する有害性	水生環境有害性 (急性) 区分1 水生環境有害性 (長期間) 区分1

*記載がない危険有害性は、「区分に該当しない」または「分類できない」である。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険有害性情報

危険

重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。重篤な眼の損傷。アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。遺伝性疾患のおそれの疑い。胎児への悪影響のおそれ。生殖能への悪影響のおそれ。臓器 (胸腺) の障害。長期にわたる、又は反復暴露による臓器 (胸腺) の障害。水生生物に非常に強い毒性。長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

注意書き

安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。この製品を使用するとき、飲食又は喫煙をしないこと。取扱い後はよく洗うこと。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。環境への放出を避けること。

応急措置

飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。皮膚 (又は髪) に付着した場合: 直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を多量の水と石鹸で洗うこと。皮膚刺激又は発疹が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は医師に連絡すること。眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診断/手当てを受けること。気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。漏出物を回収すること。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

保管

施錠して保管すること。

廃棄

内容物/容器を現地/地域/国/国際法律に従って処理すること。

想定される非常事態の概要 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。臓器の障害。アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。生殖に影響を与えることがある。遺伝性疾患のおそれの疑い。水路に排出されると環境に対して有害である。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物
(有機スズ化合物乳濁液)

成分	CAS番号	官報公示整理番号		含有量 (%)
		化審法	安衛法	
有機スズ脂肪酸塩	77-58-7	(2)-2330	(2)-2330	70 - 80

化審法; 全成分登録済保証。

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。ただちに医師の手当てを受けること。

皮膚に付着した場合

汚染された衣服を直ちに脱ぎ、皮膚を石鹸と水で洗うこと。皮膚に少量付着した場合、影響を受けていない皮膚に物質が広がるのを防止すること。直ちに医師に連絡すること。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。

目に入った場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄すること。コンタクトレンズをしていて容易に取り外せる場合は取り外す。その後も洗浄を続けること。直ちに医師の手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。嘔吐させないこと。もし嘔吐が起こったら、胃からの嘔吐物が肺に入らないよう頭部を下げる。直ちに医師の手当てを受けること。

応急措置をする者の保護

ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診断/手当てを受けること。医療スタッフに物質が何であるかを伝え、自身の保護措置にも気をつけさせる。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。

医師に対する特別な注意事項

症状に応じて処置すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

水噴霧。泡消火剤。粉末消火剤。二酸化炭素 (CO2)。

使ってはならない消火剤

知見なし。

火災時の特有の危険有害性

加熱および火災により有害な蒸気/ガスが生成されることがある。有害性のヒューム。

特有の消火方法

もし危険を冒さずにできる場合は、火災区域から容器を移動させる。流出水は環境に有害性の懸念あり。

消火を行う者の保護

消防士は、防火衣、ヘルメット、手袋、ゴムブーツを含む標準的な防護衣、自給式呼吸器 (SCBA) を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外の立ち入りを禁止する。流出が著しくて回収できない場合は、現地当局に通告すべきである。流出物質に触ったり、踏んだりしない。十分な換気を確保する。適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

安全を確認してから、流出防止の措置をとる。環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

全ての着火源を取り除く。

大量の漏出: 危険を伴わずに出来る場合には、物質の流れを止める。可能な場合は漏出物が広がるのを防止すること。プラスチックのシートで覆い、拡散を防止する。パーミキュライト、砂、土などの不燃性材料を用いて製品を吸収し、廃棄のため容器に収める。水路、下水道、地下または密閉された場所へ流入を防ぐ。

少量の漏出: 布等の吸収材で拭き取る。残った汚染を除去する為に床をよく清掃すること。

元の容器に回収して再使用する事は絶対に避けること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 (局所排気、全体換気等)

適切な換気を行う。

安全取扱い注意事項

取扱い/保管は慎重に行うこと。使用前に取扱説明書入手すること。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。適切な保護具を着用する。使用中は飲食や喫煙をしないこと。取扱い後は手をよく洗うこと。環境への放出を避けること。排水路に流してはならない。ミスト又は蒸気を吸入しないこと。妊娠中または授乳中の女性はこの製品を取り扱ってはならない。本物質を皮膚に接触させないこと。本物質を目に入れないこと。本物質を衣服に接触させないこと。長時間の暴露を避けること。

接触回避

『10. 安定性及び反応性』を参照。

適切な衛生対策

使用中は飲食や喫煙をしない。眼に入れない。本物質を皮膚に接触させないこと。本物質を衣服に接触させないこと。休憩前や製品取扱い直後には手を洗う。飲食物から遠ざける。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。適切な産業衛生および安全対策のもとに取扱う。

保管

- 安全な保管条件** 施錠して保管すること。容器を密閉しておくこと。子供の手の届かないように保管すること。直射日光が入らない、涼しく乾燥した場所に貯蔵すること。凝固するのを避けるため0℃以下で保管しないで下さい。
- 安全な容器包装材料** 元の容器で保管する。本品は水を含有しております。従いまして、金属製の容器に長期保管した場合は、容器が腐食する可能性がありますのでご注意ください。

8. 暴露防止及び保護措置**許容濃度（暴露限界値）および管理濃度**

ACGIH 成分	タイプ	数値
有機スズ脂肪酸塩 (CAS 77-58-7)	STEL	0.2 mg/m ³
	TWA	0.1 mg/m ³

暴露ガイドライン OELは製品の現在の物理的性状とは関係ない。

米国ACGIH許容濃度：皮膚

有機スズ脂肪酸塩 (CAS 77-58-7) 経皮吸収性がある。

設備対策 適切な全体換気・局所排気装置を設置する。洗眼設備を設置する。

保護具

- 呼吸器の保護具** 作業者が暴露限界値を上回る濃度にさらされる場合には、適切な認定を受けたマスクを着用する必要がある。
- 手の保護具** 保護手袋を着用すること。
- 眼、顔面の保護具** 側板付安全眼鏡（またはゴーグル）を着用すること。フェイスシールドが望ましい。
- 皮膚及び身体の保護具** 適切な耐化学薬品性の保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質**外観**

物理状態	液体
色	群青色
臭い	微臭
融点 / 凝固点	0 °C (32 ° F) [水]
沸点又は初留点及び沸騰範囲	100 °C (212 ° F) [水]
可燃性	発火の可能性は低い
爆発下限界 (LEL) / 可燃限界 (下限)	データなし
爆発上限界 (UEL) / 可燃限界 (上限)	データなし
引火点	該当せず
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	データなし
動粘性率又は粘度	250 mPa·s (25 ° C)
溶解性 (水)	分散
n-オクタノール／水分配係数 (log値)	該当せず
蒸気圧	3.1 kPa (25 ° C) [水]
蒸気密度又は相対ガス密度	該当せず
蒸発速度	< 1 (酢酸ブチル=1.0)
密度及び／又は相対密度	1.05 (25 ° C)
分子量	該当せず
粒子特性	データなし

10. 安定性及び反応性

- 反応性** 通常の使用、保管、輸送条件下で起こる既知の危険な反応はない。
- 化学的安定性** 通常の条件では安定。
- 危険有害反応可能性** 危険な重合は起こらない。
- 避けるべき条件** 特になし。
- 混触危険物質** 強酸化剤。
- 危険有害性分解生成物** 加熱又は燃焼により下記の分解生成物を発生する可能性がある。一酸化炭素、二酸化炭素等の酸化炭素類、不完全燃焼により生成する微量の炭素化合物。金属酸化物。

11. 有害性情報

急性毒性

成分	種	試験結果
有機スズ脂肪酸塩 (CAS 77-58-7)		
急性 経口 LD50	ラット	> 2000 mg/kg
皮膚腐食性/刺激性		重篤な皮膚の薬傷及び目の損傷。 [有機スズ脂肪酸塩]
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性		重篤な眼の損傷。 [有機スズ脂肪酸塩]
呼吸器感作性又は皮膚感作性		
呼吸器感作性		データなし。
皮膚感作性		アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。 [有機スズ脂肪酸塩]
生殖細胞変異原性		遺伝性疾患のおそれの疑い。 [有機スズ脂肪酸塩]
発がん性		
ACGIH発がん性物質		
有機スズ脂肪酸塩 (CAS 77-58-7)		A4 ヒトへの発がん性を分類できない。
生殖毒性		生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い。 [有機スズ脂肪酸塩]
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)		下記の臓器に影響を与える可能性がある。 胸腺。 [有機スズ脂肪酸塩]
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)		長期にわたるまたは反復暴露により下記の臓器に影響を与える可能性がある。 胸腺。 [有機スズ脂肪酸塩]
誤えん有害性		データなし。

12. 環境影響情報

生態毒性	水生生物に非常に強い毒性。 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。 [有機スズ脂肪酸塩]
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壌中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全でかつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	焼却処理。 廃棄物処理法の許可を受けた業者に処理を委託する。 本物質を下水や給水設備に流さないこと。 。 内容物/容器を地域/地方/国/国際規則に従って処理すること。
---	---

14. 輸送上の注意

国際規制

IATA

UN number	UN1760
UN proper shipping name	Corrosive liquid, n.o.s. (Organo tin fatty acid salts)
Transport hazard class(es)	
Class	8
Subsidiary risk	-
Packing group	III
Environmental hazards	Yes
ERG Code	8L
Special precautions for user	Read safety instructions, SDS and emergency procedures before handling.
Other information	
Passenger and cargo aircraft	Allowed with restrictions.
Cargo aircraft only	Allowed with restrictions.

IMDG

UN number	UN1760
UN proper shipping name	CORROSIVE LIQUID, N.O.S. (Organo tin fatty acid salts)
Transport hazard class(es)	
Class	8
Subsidiary risk	-
Packing group	III
Environmental hazards	
Marine pollutant	Yes
EmS	F-A, S-B

Special precautions for user

Read safety instructions, SDS and emergency procedures before handling.

MARPOL73/78条約の附属書II及びIBCコードによるバルク輸送
一般情報

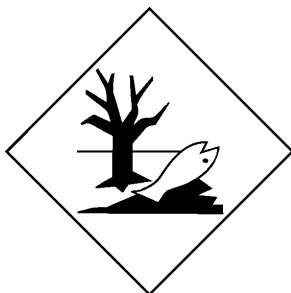
本製品は、ばら積み輸送用ではありません。

IMDGに定める海洋汚染物質。

IATA; IMDG



海洋汚染物質



国内規制

国内輸送については15章の規制に従うこと。

緊急時応急措置指針番号

154

15. 適用法令

労働安全衛生法

特化則

- 第一類物質
該当せず
- 第二類物質
該当せず
- 第三類物質
該当せず

有機則

- 第一種有機溶剤
該当せず
- 第二種有機溶剤
該当せず
- 第三種有機溶剤
該当せず

通知対象物

スズ及びその化合物

70 - 80 %

表示対象物

スズ及びその化合物

毒物及び劇物取締法

特定毒物

該当せず

毒物

該当せず

劇物

該当せず

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

第一種特定化学物質

該当せず

第二種特定化学物質

該当せず

監視化学物質

該当せず

優先評価化学物質

該当せず

化学物質排出把握管理促進法

現行化学物質排出把握管理促進法 (2023年3月31日迄)

特定第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず

現行化学物質排出把握管理促進法 (2023年3月31日迄)

第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

有機スズ化合物(Snとして) 政令番号 239 14 %

第二種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず

改正化学物質排出把握管理促進法 (2023年4月1日以降)

特定第一種指定化学物質(管理番号、物質名、含量)

該当せず

第一種指定化学物質(管理番号、物質名、含量)

【管理番号664】有機スズ化合物(スズとして) 14 % (有機スズ脂肪酸塩)

第二種指定化学物質(管理番号、物質名、含量)

該当せず

消防法	非危険物
船舶安全法・危規則	腐食性物質
航空法・施行規則	腐食性物質
火薬類取締法	該当せず
高压ガス保安法	該当せず
海洋汚染防止法	海洋汚染物質

16. その他の情報

引用文献

HSDB® - Hazardous Substances Data Bank
 IARC発がん性評価モノグラフ
 National Toxicology Program (NTP) Report on Carcinogens
 ACGIH Documentation of the Threshold Limit Values and Biological Exposure Indices
 日本産業衛生学会、許容濃度等の勧告
 JIS Z 7252 : 2019 GHS に基づく化学品の分類方法
 JIS Z 7253 : 2019 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)
 日本化学工業協会 GHS対応ガイドライン、2019年6月

この安全データシートは、日本工業規格JIS Z 7253:2019に沿って作成致しました。本記載内容は代表値であり、規格、および保証値を示すものではありません。また、推奨される産業衛生措置および安全な取扱い方法は、通常取扱いにおいて適用した方がよいと思われる内容を記載しておりますので具体的な用途や取扱い条件に照らして、推奨事項が適切かどうかご検討の上ご判断頂くようお願い致します。

本品は、一般工業用途向けに開発・製造されたものです。医療用その他特殊な用途へのご使用に際しては貴社にて事前にテストを行ない、当該用途に使用する事の安全性をご確認の上ご使用ください。医療用インプラント用には絶対に使用しないでください。

版番号 10
 改訂日 2022/07/25